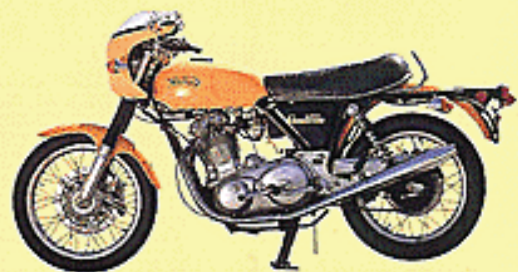


ライトニング Lightning

2005 Vol.138 10月号 定価 ¥580



特集1

映画がボクらの教科書だ。

ストーリーは忘れても、登場するアイテムは忘れられない。それが、オトコの映画の見方。つねに教科書は映画だった。クルマ、バイク、ファッション……映画に影響されて、モノ選びをしている人って意外に多い。

気分はネイティブ&ウエスタン 土埃が舞うベタなアメリカが面白い。

アリゾナでカウボーイに出会い、本物のネイティブアメリカン・ジュエリーを学ぶ。赤土の大地でライトニングが見てきたものは、とつても魅力的なアメリカの原風景。

編集部・ラーメン小池が行く、

サンフランシスコ、

ロサンゼルス寄り道旅。



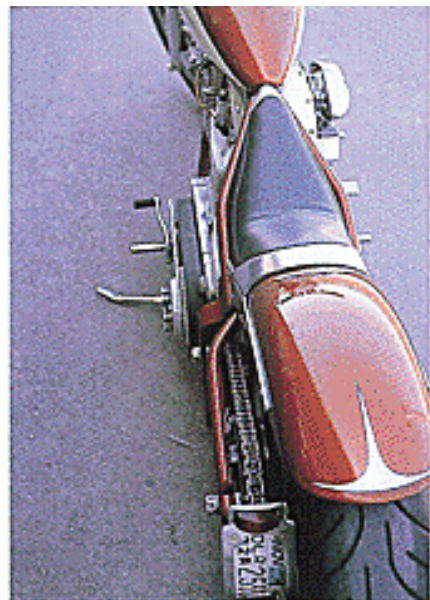
「トイ・ストーリー」のピクサー・アニメーションスタジオや、トゥルーレリジョンの本社に潜入。サンフランシスコで「プリント」までやってきた!



個性的な
黒を選ぶ。

人とは違うモノ選びのキーワードは「黒」だった!





↑テールランプはサイドにオフセット。おかげでオリジナルのリアフェンダーがぐっと強調されるリアスタイルに



↑ソフテイルフレームをカットして短くしたりグリップにベークライトを使用したり、見ただけでは分からない箇所のディテール満載

↑価格はフルカスタムで3~6万ドル。過去に仕上げたモデルとカラー違いであればより低価格になる。世界に1台なら安いでしょ!



↑細身で薄いシートの前後にはアルミ削りだしのパーツでアクセントを付ける。オイルタンクのカバーもワゴンオフ。流麗なフィンが特徴的



↑S&S製1600ccのエンジンを搭載してる心臓部。オリジナルのエアクリーナーカバーが印象的。スタイリングもぐっと向上

Beautiful Loser 一切無駄のない シンプルなチョッパー。

サリナス・ボーイズのコンセプトは「シンプルでひとつひとつのパーツが深く造りのこないカスタム」。旧いようで新しいその独自の世界観を1台のコンプリートモデルから学ぶ。



↑「サイクル・ワールド」誌で2004年のバイカー・ビルド・オブ・ザ・イヤーのタイトルを受賞した1台。シンプルかつパワフル



↑チェーンギアがブレーキと一体化。こうすることでリアがよりずっさりとしたイメージになるってわけ

↑リーザがデザインする「タイトロ・ア・ゴー・ゴー」がこれ。くわしくはwww.nitroagogo.comまで。もちろんここから購入も可能だ



サリナス・ボーイズの陣りのファクトリーでは往年のファニーカーがレストアされてる。しかもそこで出会ったリーザはオリジナルのバッグのデザイン&製作をしてるんだって。どれもカスタムカルチャーからインスパイアされてて見逃せない。

となりの
ファクトリーにて
新作バッグに出会う。

ROAD TO LOS ANGELES

シナーズをフィーチャーした 作品も見逃せない。

コールも参加するオールドスクールなチョッパー乗りたちの集まりが「Sinners〜シナーズ」。昔ながらのクールなチョッパー好きたちの活動や彼らのバイクライフ、そしてシナーズとはどんな人たちなのかをフィーチャーしたドキュメント映像が登場。

↑ホットロッドやチョッパーなどが好きな人にはたまらない。くわしくはwww.choppertown.comまで。もちろん購入可能。24ドル95



↑ただバイクが好き、チョッパーが好きという人たちが構成されたシナーズのドキュメントがDVD映像で出る
Copyright 2004-2005 One World Studios Ltd. All rights reserved.